

2021年度 第2回研究会

「聴覚障害教員スキルアップセミナー」

日時 令和4年2月23日（水・祝） 午後13:00～17:00

実施 Zoomによるオンライン

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、オンラインで研究会を行います。

事前にZoomアプリのダウンロードをお願いします。

手話を用いたグループワークを行いますので、手話通訳はありません。

【研究会のねらい】

「手話が上手い・分かりやすい」＝「授業が上手い・分かりやすい」というのは、その通りでしょうか。

例えば、ある教科書に以下のような一文があった場合、みなさんは手話でどのように表現しますか？

貿易のおかげで豊かな食生活ができるようになった。

貿易と食生活の
因果関係は？

“おかげ”の手話表現は
適切だろうか？

“豊かな”食生活の
概念はできているのだろうか？

そこで、手話と日本語における言語観を磨き、教科指導スキルの向上および手話や当事者の観点に沿った授業実践や教材研究をすることをねらいに定め、「二言語学習会」改め「聴覚障害教員スキルアップセミナー」を設けることにしました。日本語や手話における言語的構造やその特性について宮城教育大学の松崎丈先生よりレクチャーをいただいた後、ワークショップを行います。ワークショップには、以下の表に掲載してある通り、3つのテーマ(①言語観・②表現スキル・③デフフード)を設けてあります。今回は、手話と授業実践がテーマですので、情報保障はありません。参加者同士で助け合いながら交流を深めていくことも、1つのねらいとしてあります。

また、参加申込フォームにて、ワークショップ①・②・③のご希望をお伺いいたしますので、申込のあった方々のご希望に合わせてグループ編成ができるように工夫していきます。

	ねらい	キーワード
ワークショップ①	手話と日本語の特性・言語的構造の違いに気づき、考察を深める。	入門編：言語観 言語・文化
ワークショップ②	概念や説明表現の仕方など、多角的多面的な視点で考察しながら、表現スキルを磨く。	中級編：表現スキル CL、空間活用、ロールシフト 非手指表現、手話口形など
ワークショップ③	教科書の題材をもとに、手話および聴覚障害者の視点から授業展開する。	上級編：デフフード ・聴者の視点で作られた題材に、当事者視点を加える。 ・日本語の題材に、手話の観点を加える。

ワークショップ①は小学校社会や理科の教科書より、②は小学校算数・中学校数学で取り扱われる

「定義」を、③は小学校国語の「ことば」シリーズを、それぞれ題材にしたものを取り扱う予定です。

【当日の流れ】

12:50	入室 ※ 入室後、開始時間までお待ちください。
13:00	開始・会長のあいさつ 主旨および流れの説明、助言者・手話アドバイザー紹介
13:05	レクチャー 「当事者視点に沿った教科指導の在り方」
14:05	5分休憩
14:10	グループワークに関する説明(5分) 自己紹介タイム(5分) グループワーク開始 ワークショップ①「入門編：言語観」 ワークショップ②「中級編：表現スキル」 ワークショップ③「上級編：デフフード」
15:20	グループワーク終了(発表の流れ確認)
15:25	各班の発表
15:45	手話アドバイザーからの助言 ・手話と日本語の表現の違いについて（入門編） ・様々な手話表現と留意点について（中級編） ・手話の観点、当事者視点について（上級編）
16:55	諸連絡・終わりのあいさつ
17:00	終了 記念写真の撮影をする予定です。

お菓子や飲み物を用意して、みんなで教材研究をしよう！

【助言者・手話アドバイザー】

助言者 宮城教育大学 教育学部 准教授 松崎 丈 先生
手話アドバイザー 明晴学園 児童発達支援事業所めだか 管理者 小野 広祐 先生
国立障害者リハビリテーションセンター学院 専任教官 野口 岳史 先生

【参加費】

会員無料 非会員は1500円（学生は1000円）

【申込方法】



← QRコード読み取り機能を利用することで、Webにて参加申込ができます。

<URL> <https://forms.gle/uZgE8XZAtEWGZMQ69>

【申込締切】

令和4年2月16日（水）まで

【申込先・問い合わせ先】

全聴教研究部 zencyoken@gmail.com

※ 当研究会では、手話に直接向かい合い、スキルを向上させることを目的とするため、ワークショップ形式で進めます。今回に限り、音声変換通訳、要約通訳はつきません。何卒ご了承ください。
情報保障についてご相談のある方は、お問い合わせ先にて、ご連絡ください。

ふるってのご参加をお待ちしております！